

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年7月31日）

1 主な報告等

(1) 県警察における障害者雇用の現状について

委員から、雇用率の目標を上回っていることは素晴らしいと思う。以前、聴覚障害者に配慮したパトカーを導入したと報告を受けたが、これまでは気づけなかったことで、見直しできることがあれば、警察業務の運営に反映してもらいたい。また、合理的配慮が義務付けられているので、日々のコミュニケーションを大事にしながら、個々の能力に応じた働き方で、継続的に働ける環境を整えてもらいたい旨の発言があった。

(2) 学校と連携した少年非行防止・被害防止対策について

～「沖縄県教育庁・警察本部等連絡協議会」の開催結果～

委員から、少年非行防止には学校との連携はとても重要だと思う。ツールをうまく活用しつつ、必要な情報を学校や保護者に届けてもらいたい。学校現場では非行等の問題が発生した場合にどのように対処すればいいのかわからないという声もある。問題が発生してからどうしようと悩むこととなるので、事前に警察と学校で協議を重ねて、対応方針についてフローチャートのようなものを作成して共有できれば、今回はこうすればよいとスムーズに対応ができ、通報が遅れるなどの問題も改善されると思うので、検討をお願いしたい旨の発言があった。

(3) 警察庁指定広域技能指導官（職務質問）による特別講演等の実施について

委員から、参加者の反響からとてもよい研修だったのだろうと感じた。地域課は現場の第一線で職務を行い、初動捜査を極める専門職であり、地域課員の職務質問能力の向上は重要である。現在、当県からは似顔絵の広域技能指導官が一人指定されているが、今後さらに広域技能指導官が指定されるよう人材育成をお願いしたい旨の発言があった。

(4) 電子計算機使用詐欺事件被疑者の検挙について

委員から、犯罪の手口が多様化していると感じた。膨大な量の資料や情報を短期間で精査するなど、地道な捜査が早期検挙につながったと思う。捜査員の皆さんの労をねぎらいたい旨の発言があった。

(5) 第27回参議院議員通常選挙に伴う警護警備実施結果について

委員から、難しい対応もあったと思うが、事故なく、完遂できてよかった。これまでは屋外での街頭演説が一般的であったが、選挙活動も多様化し、有権者もインターネットを活用した情報収集を行っていることから、室内での演説を行ってもらえれば、安心につながりやすいのではないかと感じる。今後も警護対象者だけでなく、聴衆の安全確保に努めてもらいたい旨の発言があった。

(6) その他

警察本部から、昨日、カムチャツカ半島での地震発生に伴い、当県にも津波注意報が発令されたが、昨年４月に県内で津波警報が発令された際の対応の反省と教訓も踏まえ、今一度、誰が何をするのか等の対応について点検を行い、備えを万全にしていきたいと思います旨の発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 審査請求の受付について

(2) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について

(3) 警備部

- ・ 警察職員等の援助要求について